物価_至優_能登半島地震

# 令和5年度　物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

| | |
|---|---|
| 都道府県名 | 石川県 |
| 地方公共団体名 | 七尾市 |
| 都道府県・市町村コード(5桁) | 17202 |
| 担当部局課名 | 企画振興部企画政策課 |
| 担当者氏名 | |
| 電話番号 | 0767-53-1117 |
| メールアドレス | kikaku-seisaku@nanao.lg.jp |

| 交付対象経費（地方単独事業費） | |
|---|---|
| 国のR5補正予算分(推奨事業メニュー分)　交付限度額① | 484,588 |
| 国のR5補正予算分(低所得世帯支援枠分)　給付費　交付限度額② | 413,000 |
| 国のR5補正予算分(低所得世帯支援枠分)　事務費　交付限度額③ | 13,700 |
| 国のR5予備費分(給付金・定額減税一体支援枠分)　給付費　交付限度額④ | 166,600 |
| 国のR5予備費分(給付金・定額減税一体支援枠分)　事務費　交付限度額⑤ | 4,360 |
| 国のR5予備費分(給付支援サービス分)　交付限度額⑥ | - |

（単位：千円）

| | | |
|---|---|---|
| 既配分額<br>国のR5補正予算分(推奨事業メニュー分)　交付限度額① | - | 国のR5補正予算分(推奨事業メニュー分)<br>交付限度額①（令和5年11月通知分） | 141,699 |
| 既配分額<br>国のR5補正予算分(低所得世帯支援枠分)　給付費　交付限度額② | 306,880 | 国のR5補正予算分(低所得世帯支援枠分)<br>給付費　交付限度額②（令和5年11月通知分） | 306,880 |
| 既配分額<br>国のR5補正予算分(低所得世帯支援枠分)　事務費　交付限度額③ | 10,960 | 国のR5補正予算分(低所得世帯支援枠分)<br>給付費　交付限度額②（令和6年1月通知分） | 76,720 |
| 既配分額<br>国のR5予備費分(給付金・定額減税一体支援枠分)　給付費　交付限度額④ | - | 小計　交付限度額② | 383,600 |
| 既配分額<br>国のR5予備費分(給付金・定額減税一体支援枠分)　事務費<br>交付限度額⑤ | - | 国のR5補正予算分(低所得世帯支援枠分)<br>事務費　交付限度額③（令和5年11月通知分） | 10,960 |
| 既配分額<br>国のR5予備費分(給付支援サービス分)　交付限度額⑥ | - | 国のR5補正予算分(低所得世帯支援枠分)<br>事務費　交付限度額③（令和6年1月通知分） | 2,740 |
| | | 小計　交付限度額③ | 13,700 |
| | | 国のR5予備費分(給付金・定額減税一体支援枠分)<br>給付費　交付限度額④（令和5年12月通知分） | 365,660 |
| | | 国のR5予備費分(給付金・定額減税一体支援枠分)<br>事務費　交付限度額⑤（令和5年12月通知分） | 26,101 |
| | | 国のR5予備費分(給付支援サービス分)<br>交付限度額⑥（令和◆年◆月通知分） | - |
| 今回配分予定額<br>国のR5補正予算分(推奨事業メニュー分)　交付限度額① | 141,699 | | |
| 今回配分予定額<br>国のR5補正予算分(低所得世帯支援枠分)　給付費　交付限度額② | 76,720 | | |
| 今回配分予定額<br>国のR5補正予算分(低所得世帯支援枠分)　事務費　交付限度額③ | 2,740 | | |
| 今回配分予定額<br>国のR5予備費分(給付金・定額減税一体支援枠分)　給付費　交付限度額④ | 166,600 | | |
| 今回配分予定額<br>国のR5予備費分(給付金・定額減税一体支援枠分)　事務費<br>交付限度額⑤ | 4,360 | | |
| 今回配分予定額<br>国のR5予備費分(給付支援サービス分)　交付限度額⑥ | - | | |
| 配分予定額計<br>国のR5補正予算分(推奨事業メニュー分)　交付限度額① | 141,699 | | |
| 配分予定額計<br>国のR5補正予算分(低所得世帯支援枠分)　給付費　交付限度額② | 383,600 | 本省繰越希望額（R5補正予算により措置された推奨事業メニュー分交付限度額①に係る希望額）<br>小計：自動計算分＋手動入力分　（交付限度額①を上限とする） | 自動計算分 | - |
| 配分予定額計<br>国のR5補正予算分(低所得世帯支援枠分)　事務費　交付限度額③ | 13,700 | | 手動入力分 | - |
| 配分予定額計<br>国のR5予備費分(給付金・定額減税一体支援枠分)　給付費　交付限度額④ | 166,600 | | | - |
| 配分予定額計<br>国のR5予備費分(給付金・定額減税一体支援枠分)　事務費<br>交付限度額⑤ | 4,360 | 本省繰越希望額<br>（R5補正予算により措置された低所得世帯支援枠分(給付費)交付限度額②に係る希望額） | | - |
| 配分予定額計<br>国のR5予備費分(給付支援サービス分)　交付限度額⑥ | - | 本省繰越希望額<br>（R5補正予算により措置された低所得世帯支援枠分(事務費)交付限度額③に係る希望額） | | - |
| 配分予定額計 | 709,959 | 本省繰越希望額<br>（R5予備費により措置された給付金・定額減税一体支援枠分(給付費)<br>交付限度額④に係る希望額） | | 199,060 |
| | | 本省繰越希望額<br>（R5予備費により措置された給付金・定額減税一体支援枠分(事務費)<br>交付限度額⑤に係る希望額） | | 21,747 |
| | | 本省繰越希望額<br>（R5予備費により措置された給付支援サービス分　交付限度額⑥に係る希望額） | | - |
| 移替先 | 総務省 | 交付限度額計 | | 930,766 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | No | 国の予算年度 | 枠 | 地方単独事業 | エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者等に対して事業の効果が直接及ぶ | 臨時の措置であることが分かる事業名称としている | 交付対象事業の名称 | 経済対策との関係 | 対象外経費に臨時交付金を充当していない | 推奨事業メニュー | ⑨を選択した場合、より効果があると考える理由 | A<br>総事業費 | B<br>交付対象経費 | B 1<br>国の R5補正予算分（交付限度額①）（推奨事業メニュー分） | B 2<br>国の R5補正予算分（交付限度額②）（低所得世帯支援枠分）給付費 | B 2<br>国の R5補正予算分（交付限度額③）（低所得世帯支援枠分）事務費 | B 3<br>国の R5予備費（交付限度額④）（給付金・定額減税一体支援枠分）給付費 | B 3<br>国の R5予備費（交付限度額⑤）（給付金・定額減税一体支援枠分）事務費 | B 4<br>国の R5予備費（交付限度額⑥）（給付支援サービス分） | C<br>その他（一般財源や補助対象外経費等） | 事業の概要 ①②③④を必ずそれぞれの項目毎に明記<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算根拠（対象数、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 特定事業者等支援 | 個人を対象とした給付金等 | 基金 | 事業始期 | 事業終期 | 成果目標（可能な限り定量的指標を設定） | 実施状況の公表等について（HP, 広報紙など） | 備考1（重点支援地方交付金の追加を踏まえた各省庁の通知の発出状況に定義されている対象分野） | 備考2（事業の終期が令和6年3月を超えることが見込まれる場合、その事情） | 備考3 | 自治体での予算区分 |
| | | | | | | | | | | | | 合計 | 1,083,536 | 1,082,248 | 484,588 | 413,000 | 13,700 | 166,600 | 4,360 | - | 1,288 | | | | | | | | | | | | | |
| 業禁止法の対象範囲 | 住民税均等割非課税世帯への支援（低所得枠） | 1 | R5_補正 | 低所得 | ○ | ○ | ○ | 物価高騰対応重点支援給付金【物価高騰対策給付金】 | Ⅰ．物価高から国民生活を守る | ○ | － | | 426,700 | 426,700 | - | 413,000 | 13,700 | - | - | - | - | ①物価高が続く中で低所得世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。<br>②低所得世帯への給付金及び事務費<br>③給付金額　R5年度分の住民税非課税世帯 5900世帯×70千円<br>事務費　13700千円<br>事務費の内容　【常用費(事務用品等)　役務費(郵送料等)　業務委託料　使用料及び賃借料　人件費　その他　として支出】<br>④R5年度分の住民税非課税世帯（5900世帯） | － | ○ | － | R5.11 | R6.4以降 | 対象世帯に対して令和5年12月までに支給を開始する | ホームページ | 対象分野に関連しない | 計画に関する諸条件、キ．算出の根拠など各事業の確定等の調整のために不測の日数を要し、計画を再検討した結果、交付対象事業の完了が R7.3月下旬となるため | | R5補正（地） |
| | 住民税均等割のみ課税世帯への支援（一体給付） | 2 | R5_予備 | 一体支援 | ○ | ○ | ○ | 住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金【物価高騰対策給付金】 | Ⅰ．物価高から国民生活を守る | ○ | － | | 133,000 | 131,712 | - | - | - | 128,500 | 3,212 | - | 1,288 | ①物価高が続く中で低所得世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。<br>②低所得世帯への給付金及び事務費<br>③給付金額　R5年度分の住民税均等割のみ課税世帯 1285世帯×100千円<br>事務費　4500千円<br>事務費の内容　【常用費(事務用品等)　役務費(郵送料等)　業務委託料　使用料及び賃借料　人件費　として支出】<br>④R5年度分の住民税均等割のみ課税世帯（1285世帯） | － | ○ | － | R6.2 | R6.4以降 | 対象世帯に対して令和6年3月までに支給を開始する | ホームページ | 対象分野に関連しない | 計画に関する諸条件、キ．算出の根拠など各事業の確定等の調整のために不測の日数を要し、計画を再検討した結果、交付対象事業の完了が R7.3月下旬となるため | | R5補正（地） |
| | こども加算（一体給付） | 3 | R5_予備 | 一体支援 | ○ | ○ | ○ | 住民税均等割世帯等臨時特別給付金（こども加算分）【物価高騰対策給付金】 | Ⅰ．物価高から国民生活を守る | ○ | － | | 39,248 | 39,248 | - | - | - | 38,100 | 1,148 | - | - | ①物価高が続く中で低所得の子育て世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。<br>②低所得の子育て世帯への給付金及び事務費<br>③給付金額　給付対象児童　762人×50千円<br>事務費　1148千円<br>事務費の内容　【常用費(事務用品等)　役務費(郵送料等)　業務委託料　使用料及び賃借料　人件費　その他　として支出】<br>④R5年度分の住民税非課税及び均等割のみ課税の子育て世帯（459世帯） | － | ○ | － | R6.2 | R6.4以降 | 対象世帯に対して令和6年3月までに支給を開始する | ホームページ | 対象分野に関連しない | 計画に関する諸条件、キ．算出の根拠など各事業の確定等の調整のために不測の日数を要し、計画を再検討した結果、交付対象事業の完了が R7.3月下旬となるため | | R5補正（地） |
| ※事務連絡参照 | 新たに住民税非課税等となる世帯への支援（一体給付） | 4 | | | | | | | | | | | - | - | - | - | - | | | - | | | | | | | | | | | | | | |
| | 調整給付（一体給付） | 5 | | | | | | | | | | | - | - | - | - | - | | | - | | | | | | | | | | | | | | |
| | 給付支援サービス（一体給付） | 6 | | | | | | | | | | | - | - | - | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 住民税均等割非課税世帯等への支援に係る本体分の事業費 | 7 | | | | | | | | | | | - | - | | | | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | |
| | 一体給付に係る本体分の事業費（上乗せ1・予備費） | 8 | | | | | | | | | | | - | - | - | - | - | | | - | - | | | | | | | | | | | | | |
| 対象範囲外 | 住民税均等割非課税世帯等への支援分の事業費（上乗せ2・推奨分） | 9 | | | | | | | | | | | - | - | | - | - | | | - | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 10 | R5_補正 | 推奨事業 | ○ | ○ | ○ | 在宅介護等応援金事業 | Ⅰ．物価高から国民生活を守る | ○ | ①エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う低所得世帯支援 | | 30,044 | 30,044 | 30,044 | | | | | | | ①物価高騰の影響を受けている在宅で生活している要介護等認定者（低所得世帯を含む）の経済負担の軽減を図る<br>②応援金の支給に係る費用<br>③応援金10,000円×2,700人＝27,000千円<br>　委託費2,440千円<br>　印刷費、郵便料等604千円<br>④要介護等の認定を受けており、在宅で生活している者 | － | ○ | － | R5.12 | R6.4以降 | 応援金の支給率80% | ホームページ | 対象分野に関連しない | 計画に関する諸条件、キ．算出の根拠など各事業の確定等の調整のために不測の日数を要し、計画を再検討した結果、交付対象事業の完了が R7.3月下旬となるため | | R5補正（地） |
| | | 11 | R5_補正 | 推奨事業 | ○ | ○ | ○ | キャッシュレス決済ポイント還元事業 | Ⅰ．物価高から国民生活を守る | ○ | ③消費下支え等を通じた生活安定支援 | | 85,000 | 85,000 | 85,000 | | | | | | | ①キャッシュレス決済によるポイント還元を通じて、物価高騰の影響を受けている生活者の暮らしを支援するとともに、地域経済を活性化させる<br>②ポイント還元に係る費用<br>③ポイント還元に係る委託費85,000千円<br>④市内対象店舗にてキャッシュレス決済を利用した者 | － | － | － | R5.12 | R6.4以降 | ポイント還元の支給率80% | ホームページ | 対象分野に関連しない | 計画に関する諸条件、キ．算出の根拠など各事業の確定等の調整のために不測の日数を要し、計画を再検討した結果、交付対象事業の完了が R7.3月下旬となるため | | R5補正（地） |
| | | 12 | R5_補正 | 推奨事業 | ○ | ○ | ○ | 水道料減免事業 | Ⅰ．物価高から国民生活を守る | ○ | ⑤推奨事業メニュー例よりも更に効果があると判断する地方単独事業 | 物価高騰等に直面する生活困窮者を含む全世帯や事業者（公共施設等を除く）への支援を手続き等が不要で速やかに実施できるため。 | 58,905 | 58,905 | 58,905 | | | | | | | ①物価高騰の影響を受けている世帯や事業者の経済負担の軽減を図る<br>②水道事業会計に繰り出し、水道料の減免に係る費用<br>③一般用：19,582,200円×3か月＝58,747千円<br>　公衆浴場用：52,900円×3か月＝158千円<br>④市内世帯や事業者（公共施設等を除く） | － | － | － | R5.12 | R6.4以降 | 全対象世帯・事業者の減免 | ホームページ | 対象分野に関連しない | 計画に関する諸条件、キ．算出の根拠など各事業の確定等の調整のために不測の日数を要し、計画を再検討した結果、交付対象事業の完了が R7.3月下旬となるため | | R5補正（地） |
| | | 13 | R5_補正 | 推奨事業 | ○ | ○ | ○ | 子育て世帯特別応援金支給事業 | Ⅰ．物価高から国民生活を守る | ○ | ②エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援 | | 60,639 | 60,639 | 60,639 | | | | | | | ①物価高騰の影響を受けている子育て世帯の経済負担の軽減を図る<br>②応援金の支給に係る費用<br>③児童1人につき応援金10,000円×5,946人＝59,460千円<br>　印刷費、郵便料1,170千円<br>④18歳までの児童がいる世帯 | － | ○ | － | R5.12 | R6.4以降 | 応援金の支給率80% | ホームページ | 対象分野に関連しない | 計画に関する諸条件、キ．算出の根拠など各事業の確定等の調整のために不測の日数を要し、計画を再検討した結果、交付対象事業の完了が R7.3月下旬となるため | | R5補正（地） |

| | Ｎｏ | 国の予算年度 | 枠 | 地方単独事業 | エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者等に対して事業の効果が直接及ぶ | 臨時の措置であることが分かる事業名称としている | 交付対象事業の名称 | 経済対策との関係 | 対象外経費に臨時交付金を充当していない | 推奨事業メニュー | ⑨を選択した場合、より効果があると考える理由 | A<br>総事業費 | B<br>交付対象経費 | B１<br>国の R5補正予算分（交付限度額①）（推奨事業メニュー分） | B２<br>国の R5補正予算分（交付限度額②）（低所得世帯支援枠分）給付費 | B２<br>国の R5補正予算分（交付限度額③）（低所得世帯支援枠分）事務費 | B３<br>国の R5予備費（交付限度額④）（給付金・定額減税一体支援枠分）　給付費 | B３<br>国の R5予備費（交付限度額⑤）（給付金・定額減税一体支援枠分）　事務費 | B４<br>国の R5予備費（交付限度額⑥）（給付支援サービス分） | C<br>その他（一般財源や補助対象外経費等） | 事業の概要（①②③④を必ずそれぞれの項目毎に明記）<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算根拠（対象数、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 特定事業者等支援 | 個人を対象とした給付金等 | 基金 | 事業始期 | 事業終期 | 成果目標（可能な限り定量的指標を設定） | 実施状況の公表等について（HP, 広報紙など） | 備考1<br>（重点支援地方交付金の追加を踏まえた各省庁の通知の発出状況に定義されている対象分野） | 備考2<br>（事業の終期が令和6年3月を超えることが見込まれる場合、その事情） | 備考3 | 自治体での予算区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 14 | R5.補正 | 推奨事業 | ○ | ○ | ○ | 物価高騰対策事業者給付金給付事業 | Ⅰ．物価高から国民生活を守る | ○ | ⑦中小企業等に対するエネルギー価格高騰対策支援 | | 250,000 | 250,000 | 250,000 | | | | | | | ①エネルギー価格高騰の影響を受けている事業者を支援する<br>②給付金の支給に係る費用<br>③直近の決算書における水道光熱費及び燃料費に応じた額<br>　50万円～100万円未満　50千円×741件＝37,000千円<br>　100万円～1,000万円未満　100千円×1,170件＝117,000千円<br>　1,000万円以上　200千円×336件＝67,200千円<br>　※調整額　28,750千円<br>④市内の中小事業者 | － | － | － | R5.12 | R6.4以降 | 給付金の支給率80% | ホームページ | 対象分野に関連しない | 計画に関する諸条件、予算出の根拠となる事業の確定等の調整のために実施の日数を要し、計画を再検討した結果、交付対象事業の完了が12月下旬となるため | | R5補正（地） |